

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)		相模原市立図書館協議会		
事務局 (担当課)		図書館 電話042-754-3604 (直通)		
開催日時		令和4年1月25日(火) 18時00分～19時45分		
開催場所		相模原市立図書館 2階 視聴覚室		
出席者	委員	9人(別紙のとおり)		
	その他	1人(生涯学習課総括副主幹)		
	事務局	7人(図書館長、相模大野図書館長、橋本図書館長、他4名)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可	<input type="checkbox"/> 不可	<input type="checkbox"/> 一部不可
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
議 題		1 議題 (1) 図書館事業評価について  2 その他 (1) 淵野辺駅南口周辺のまちづくりについて (2) その他		
傍聴者数		0人		

# 議 事 の 要 旨

## 1 議題

### (1) 図書館事業評価について

資料1-1、1-2、1-3に基づき、事務局より説明を行った。

(小山会長) [配布資料1-1 p. 49]にあるとおり、図書館の内部評価が記載された資料に基づき、委員が意見を述べるという流れになっている。評価は、[配布資料1-3]の外部評価シートを用いて行う。このシートへの記入方法は、昨年までと基本的に変わらない。記入例にある通り、[配布資料1-1]に書かれている中で評価できる点、課題点などを寄せていただく。なお、意見は箇条書きでよい。事務局はそれを[配布資料1-1 p. 49]にあるような形式でとりまとめ、たたき台としての総評を作成する。

委員は、各自2月25日までに評価を行う。

事務局は、とりまとめた資料を次回の協議会前に委員に送付する。当日はその資料を確認しながら、総評の文言や表現を最終的にとりまとめるとともに、ABCによる3段階評価を行う。なお、図書館の内部評価は基本目標ごとに行っているが、外部評価は全体に対して行う。その点をご理解いただきたい。

今回の協議会では、[配布資料1-1]について、これから1か月間をかけて各自が評価を行うにあたり、確認しておきたいことなどを質問いただき、その内容について協議会の委員間で共通理解を得て、評価に臨んでいただくという流れで進めたいと考えている。事務局の説明や評価の方法、事実確認等、確認しておきたいことがあったら、ご発言いただきたい。

(田嶋委員) 視聴覚ライブラリーは、図書館の中と考えるか。

(事務局) 課内室という位置づけである。組織としてはまったく別である。

(田嶋委員) 視聴覚ライブラリーについての評価は、図書館の評価ではないということか。

(事務局) 図書館法に基づく「図書館」には視聴覚ライブラリーは含まれないため、今回の評価からは外していただく。

(田嶋委員) 承知した。

(高柳委員) [配布資料1-1 P. 5 (4)]のホームページの一日平均アクセス数について、ここに出てくる資料検索などの「資料」という言葉は本全てのことをいうのか。

(事務局) 貸出しができる本は全て含まれ、ホームページ上に検索の画面がある。アクセス数が減ったことについて具体的な話をすると、トップページは4,912件であるが、資料検索画面は22,714件と増えている。

トップページから入らず、直接検索画面へアクセスするパターンが増えており、アクセスは減っていないと考えている。

(小山委員) 正確には図書館で持っている本や雑誌、ビデオなど、借りられない資料も含めて検索できる。

(高柳委員) 他のページを見ていると地域資料という言葉があるがそれは含まれるか。

(事務局) 含まれる。

(高柳委員) 絵本とかも含めてすべての本も資料となるか。

(事務局) その通り。

(小山委員) ホームページのアクセス数は、事務局の説明を参考にした上で評価していただけたらと思う。

評価を行うにあたり、資料を読み込んでいて不明点が出てきた場合、事務局へ問い合わせをすることについては問題ないか。

(事務局) 問題ない。委員からいただいた質問への回答は、回答内容を他の委員とも共有させていただきたいと考えている。質問者のお名前は出さないが、こういう内容の質問が出たということ、他の委員にも共有することをご理解いただきたい。

(重光委員) 図書館で色々と事業進めているが、進めるにあたり外部資金や補助金などは利用しているか。

(事務局) していない。利用できるものは利用したいがメニューに該当するものがない。

(重光委員) 申請の対象になるものが無い旨、承知した。

(小山委員) 外部資金、特に政策的な面で特に応募はしておらず、クラウドファンディングなどの民間活力、民間資金の利用も現在のところは相模原市では行っていないということか。

(事務局) 今は行っていない。雑誌スポンサー制度は行っている。

(小山委員) 雑誌スポンサー制度は配布資料に載っている。それ以外は特になんということか。

(事務局) その通り。

(小山委員) 協議会で出た意見が、これからの図書館の施策に大きく貢献できると思う。小さなことでも構わないので、評価という視点からご意見いただきたい。

## 2 その他

### (1) 淵野辺駅南口周辺のまちづくりについて

資料2に基づき、生涯学習課より説明を行った。

(高柳委員) 定期的に月に1度検討会を実施している。何度かリモートでも開催し、

ようやく15回を終えた。皆真剣に参加している。大きくデリケートなことであるため、回数を重ねて丁寧に取り組んできたことがようやくここまでの形にもってこれたということが印象にある。

次の委員に引き継げるように活発に意見交換ができた。有識者の先生からも様々な事例について聞くことができ自分自身も勉強になった。

(小山委員) 高柳委員から、市民検討会における検討の進め方やその時の様子をお話しいただいた。私たち協議会委員として注目しておきたいことは、裏面の一番上、まとめ「鹿沼公園と図書館敷地を一体的に利用し、再整備を行う。」という箇所である。図書館の敷地が対象になっている。今後整備が進むとき、図書館そのものの運用、運営、継続性はどうするかなど現実的な話がある。

他方で、建て替えるカリノベーションか議論がある中で、次世代・次々世代の、相模原市の地域住民が誇れる、あるいは活動の拠点にできるような、あるいは職員が気持ちよく働けるような、そういう図書館のありようの検討がこれから始まる、入り口の手前にやっとなってきた。

協議会のメンバーの皆様にも見守っていただきながら、必要に応じて協議会の中でも議論できること、意見を述べられる場面をぜひ作っていただければと思う。市民として、有識者として、評価に取り組んできた者として語れる言葉があると思う。そのようなことも、この場で共有できればと思う。

(重光委員) 市長は前向きか

(生涯学習課) 先日、淵野辺駅南口周辺のまちづくりに関する事業について、市長に説明する機会があったが、市長からは、市民が誇りを持てるような施設にしてほしいという話があった。

## (2) その他

(事務局) 新型コロナウイルス感染症による影響について、神奈川県全域でまん延防止等重点措置が出ているが、図書館は通常通り開館し、サービスを提供している。相模原市内の感染状況に応じて、図書館の職員も疫学調査等の保健所業務に従事しているが、図書館を閉館して動員という状況には至っていない。

以上

相模原市立図書館協議会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	小山 憲司	中央大学文学部教授	会 長	出 席
2	高柳 眞木子	みらい子育てネットさがみはら 連絡協議会副会長	副会長	出 席
3	伊藤 隆一	相模原市立相原中学校長		出 席
4	相馬 圭	相模原市立桂北小学校長		出 席
5	高井 登志子	相模原市公民館連絡協議会副会長		出 席
6	金子 友枝	相模原市文化協会副会長		出 席
7	大谷 康晴	青山学院大学コミュニティ人間科 学部教授		出 席
8	重光 崇	女子美術大学図書美術館グループ グループ長		出 席
9	田嶋 いづみ	公募		出 席
10	松橋 利光	公募		欠 席